

いまこそ区民本位の区政に転換を

全国初

新型インフルエンザ 妊婦・子ども・高齢者など無料に

党議員団の提案で実現

今定例会で接種費用を無料にする補正予算が、全会一致で可決されました。国が無料とする生活保護世帯、住民税非課税者に加え、①妊婦、基礎疾患のある人②一歳から小学校低学年の子ども③一歳未満の小児の保護者④小学校高学年～中・高校生⑤高齢者など約85,000人が対象です。2回分6,150円（2回目が別の医療機関の場合は7,200円）が無料となります。

私たちは代表質問で、感染を最小限にするため、国や

都に医療体制の緊急強化や、公費負担の拡大などを要請するよう求めました。

また、区として、①新たな広報の実施②区施設への、消毒用アルコールの設置③資格証の人に、短期証発行を④国が公費負担するまでの間、区として助成をと提案。

決算特別委員会でも、公費負担の拡大、子どもの接種費用助成などを重ねて質問。この提案が実現しました。



来年度予算への重点要望書提出

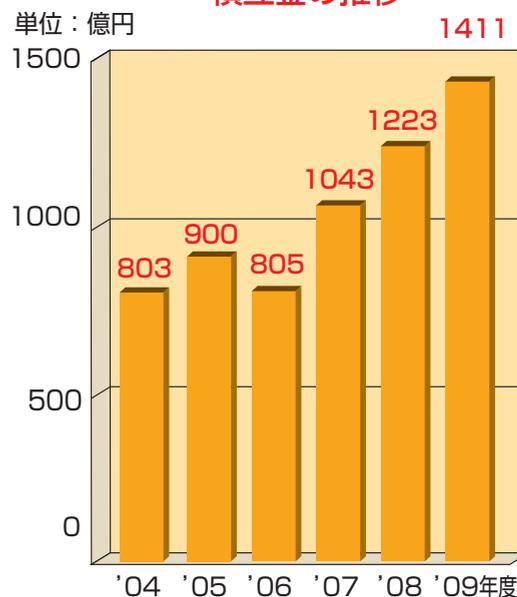
9月28日、日本共産党港地区委員会と同港区議団6名は、区長に対し「2010年度当初予算に対する重点要望書」を提出しました。（HPに掲載しました。）



区長要請する党地区委員会、同議員団

区の積立金 過去最高 1,411億円に 豊かな財政をくらし、福祉、教育に

積立金の推移



港区の基金残高は1,411億円
で過去最高、港区財政は極めて豊かです。

ところが自民党や、みらいなどの会派は、今後の税収入は不透明だとして、全事業の見直しを迫っています。

党議員団は豊かな財政を、くらし、福祉、教育など区民のために使うよう求めて、引き続き議会内外で頑張ります。

08年度決算委員会 決算5案 認定せず

自民、公明政権が退場、区政も、くらし最優先へ転換せよと提案してきた。しかし、区は、保育園待機児ゼロへの計画もなく、「後期高齢者医療制度は必要、廃止は求めない」の姿勢を続け、30人学級実施を都に要求しない

など、区民のくらし福祉に冷たい姿勢をとり続けている。その一方、森ビルなどの再開発に今後8年間で280億円の補助金を出す計画。党議員団は総括質問で区政の転換を求め、決算5案は認定しない態度表明を行いました。

高齢者の医療費助成に関する条例を提出

党議員団は、75歳以上の方の医療費を無料にする「港区高齢者の医療費の助成に関する条例」を提出しました。提案に先立ち議会の全会派に共同提案を呼びかけましたが、どの会派も応じませんでした。今後の議会で審議されます。

よりなる子育て支援を

保育園建設で待機児童解消を

区としても重要な施策

港区の認可保育園に入園できなかつた子どもたちは、八月時点で約九〇〇人です。私たちは、待機児童解消の約束を守っていない区長に、現状をどう考えているのか、認可保育園建設、暫定東麻布保育園の継続使用、緊急暫定保育施設の増設、無認可保育園保護者への保育料助成等を求めて質問。区長は「区としても重要な施策」とし、「緊急暫定保育施設の継続使用や認可保育園の分園設置の検討」など、少し前進した答弁をしましたが、待機児童解消にはまだほど遠い現状で、ねばり強い区民運動が求められます。



請願継続 共産党は採択主張

多数で継続に

一日も早い待機児童解消を求める請願が六百五十一筆の署名を添えて提出されました。共産党以外の党派が継続を主張、多数で継続審議となりました。

請願審議を傍聴して

七カ月の子どもと一緒に、初めて委員会への請願の趣旨説明と傍聴に参加しました。請願の傍聴に来ていただいた方には、大きな励ましをいただき、心から感謝しています。驚きと憤りを感じたのは、自身子どもをもつ議員が、まるで他人事のように保育を考えていたことです。また、窓とブラインドを締め切った委員会室は、環境も悪く、子連れでは傍聴しにくいと感じました。行政の意識の低さを実感し、変える必要を感じました。

(南麻布在住 主婦)

三人乗り自転車

レンタルと購入者への助成を

導入は難しい

道交法の改正で、七月から三人乗りの自転車「解禁」されましたが、自転車は六万〜八万円と高価です。前橋市では購入費の半分を助成、三鷹市ではレンタル制度を始めています。



私たちは「レンタル制度か、購入者に対する助成の導入を」と質問。区は、「坂や狭隘な道路が多い港区では、安全性や需要動向を見据える必要があり、現時点での導入は難しい」と全般的な外れの答弁でした。

高齢者にあたたかい支援を

後期高齢者医療制度

「必要な制度。廃止は求めない」区のかたくなな態度

後期高齢者医療制度への大きな怒りが、自・公政権への審判に大きく影響しました。この間、区民から「後期高齢者医療制度の廃止を求め、国への意見書提出を」の請願が出されましたが、日本共産党以外の党派（民主党四、社民党一、オンブズマン港一）からなるフォーラム民主を含むで、請願を否決。民主フォーラムに、区民の願いに背を向けてきたこの間の態度への反省を求めました。が、なんの弁明もありませんでした。「総選挙の結果を受け、廃止を求めよ」と質しましたが、区長は、「廃止を求めることは考えていない」の姿勢を変えていません。



制度廃止を決議した全国「高齢者大会」

特別養護老人ホームの計画的な建設を

「議論置き去りは認めない。……早急な調査・検討に着手」

私たちは、「七月末現在の待機者は四百六十四人もあり、当面、特養ホームへの入所希望者は増え続ける。特養ホーム建設には二〜三年かかり、いまから計画をつくらなければ、待機者を増やすことになる」と指摘し、「計画的な建設計画」を求めました。区は、「要介護の本当の出現率に応じて、どこまで

業者・雇用支援を

早期に区内事業者へ発注進めよ

発注促進を指示、速やかな支払い行う

経営の深刻な中小企業、商店支援のため、①区や教育委員会などの全施設で備品や用具、消耗品などを前倒しで区内業者から購入すること。支払いは即行うように努力すること。②小規模な修繕工事等を区内業者に前倒して発注することなどを求める質問を行いました。区は、①本年二月、施設等を所管する各課に、早期発注、契約相手として区内中小事業者を活用するよう指示した。さらに、発注を促進するよう各課へ指示を行なう。支払いも物品納入後、速やかに行なうと答弁しました。

適宜 就職面接会を

十二月に再度開催

私たちは、この間、雇用対策の一つとして、「就職面接会を実施する」よう

求めてきました。その結果、今年の二月、七月に面接会が開かれ、就職に結びつくなどの実績も上げています。雇用情勢は一段と深刻化しています。今議会では「今後も適宜就職面接会を開催すること。参加企業を増やすため、特別に企業への要請・案内を行う」よう提案。区は、「次回の就職面接会を二月八日にスポーツセンターで開催する。参加企業を増やすため、東京商工会議所港支部と連携し取り組んできた。専用ホームページで、面接会で人材を確保し、成果があった声を映像で届け、積極的に呼びかけた。次回も同様の取り組みを行なう」と答弁、前向きな取り組み姿勢を示しています。



7月の就職面接会

待機者助成を 冷たく拒否

「申し込んでも入れない」、「事情で自宅では面倒みられない、入院すると月四〇〜五〇万円もかかる」。入所資格も権利もある方の声です。自宅待機の場合、介護サービスはあるが、家族中心で世話をしなければならず、その苦勞は並大抵ではありません。特養ホーム待機者への助成を行うよう質問、区長は、「助成を行う考えはない」と冷たく拒否しています。

政に反映

せいただいた要望実現のため奮闘しました。定例会の主な質疑

みなさんの願いを区

6名の議員団奮闘

09年第3回定例区議会が9月16日から10月9日まで開かれました。今議会は08年度決算審議も
行われました。決算審議は来年度予算に区民要望を反映させるための大事な質問の機会です。私たち

6名の議員団は、みなさんからお寄
をご紹介します。



「高さ制限を許しているため、再開
発による超高層ビルが横行している。高
さ制限を明記して」など、基本計画策
定に向けた区民意見では、高さ制限設
定を求める意見が続出しました。私た
ちは「絶対高さ制限の設定」を求めて
質問。区は、「港区にふさわしい高さ制

絶対高さの制限を 再開発補助金中止せよ

住民に優しいまちづくり

限のあり方について調査等進めている。
検討にあたっては、絶対高さ制限を導
入している周辺区の運用状況をはじめ、
地域の特性や既存建築物の実態調査な
どを行っている」と答弁。また、区は、
再開発補助金をこれまで二七年度に二
三億八千万円支出し、今後八年度で、二八
〇億円の補助金を計画して
おり、支出の規模が拡大して
います。党区議団の区民アン
ケートでも圧倒的な区民は、莫
大な補助金を出すことを納得
していません。今後ともねばり
強くこの問題を追及していき
ます。

全庁あげてシルバー人材センターの 仕事確保を — 「仕事確保に努める」

区とシルバー人材センターとの契約は、前年度比
で1億2千万円の減額になっています。これまで、同
センターが行っていた運動施設や駐輪場の管理など
の仕事が、指定管理者制度に奪われています。私たち
は「仕事確保のため、全庁的にどのような対策がある
のか、支援強化を」「自転車リサイクル、リビング
サービス事業の移転先の早期確保と、移転先が決ま
るまでの現在地での作業保証を」求めました。区は
「各所管課で、どのような業務が委託できるのか検討
する」「高齢者支援課と契約管財課が連携し仕事確
保に努める」。



自転車のリサイクル

「早急に移転先
の確保に努め、事業の
中断がないよう、最大
限配慮する」と答弁
しました。

CO2削減計画の引き上げを 自然エネルギーの画期的導入を



高輪台小学校の太陽光発電

港区は、「基本計画」で2020年度までに2009年度比で
25%削減と前進した目標を掲げました。しかし日本は
世界で五番目のCO2排出国、地球温暖化抑止に大きな
責任を負っています。新内閣は25%削減を公約し、世
界から歓迎されました。私たちは、「大企業本社の集中
する港区の取り組みが全国に大きな影響を与える。目
標引き上げと自然エネルギーの画期的な導入を求める」と
質問。区は、「平成22年度の見直しに向け削減計画も検
討し、自然エネルギーの導入も進めていく」と前向き
の答弁でした。

高層住宅の 震災対策 具体化を



港南地域の高層住宅

備蓄品の助成や転倒防 止策の普及・啓発を行う

NHKで放送された「首都直下地震—
東京が大地震に襲われたら」では、震度
六弱の地震で、高層階では、建物が壊れ
なくても住みづづけることが困難となる被
害が発生するとの報道です。私たちは①
地区内残留地区の避難所の拡大②備蓄倉
庫の場所確保および備蓄品への助成③特
別な家具転倒防止対策などを求めて質問。
区は、「避難所は火災や倒壊等で住居を失
った者が一時的に生活をする場所で、高
層住宅居住者は想定されていない。」「高
層住宅に留まることを基本に備蓄品の助
成や家具転倒防止策の普及、啓発を行う」
と答弁。

「ちいばす」新5路線 二月から運行開始

私たちは、来年二月の「ちいばす」
五路線拡大運行へむけ、確実・安全に
スタートするよう要望、さらに、①低
床式バスとすること②座席を増やすため
中型バスの導入も③ポデイには、区内
の小・中学生が描いた夢があふれる絵を
と提案。区は、①五路線のバスはすべ
て低床式とする。現行車両もすべて低
床式とした②提案の点も含め協議をし
ている③基本的には子どもの絵のラッピ
ングで実証運行を開始する、と提案を
受け入れる答弁でした。



低床式バス

信号待ちでも受動喫煙 早急な対策を改善を約束

「お店に煙が入ってきて大変」、「何とかしてほしい」。喫煙コーナーの改善を求める声があがっています。港区では主要駅周辺六地区を重点モデル地区として指定、喫煙コーナー（二五カ所）を設置していますが、周辺では、信号待ちの人が受動喫煙にさらされる等、一日も早い改善が求められています。私たちは「周りに影響のないように改善すること、交差点近くの喫煙コーナーはすぐに撤去を」と求めました。区は、「改善は重点事項と



らえており、民間地も含め、影響が少ない場所への移設も含め対策に着手する。交差点付近の喫煙コーナーは、より周囲への影響が少ない場所への移設を進める」と対策を約束しました。

『せせらぎ』復活を

ねばり強く申し入れる

都立芝公園



干上がったままの芝公園の小川

憩いの場として親しまれていた都立芝公園の小川は、循環装置の故障で干上がったままです。「早くせせらぎの復活を」の声があり、昨年引き続き今年の決算委員会で改善を求めました。区は「都建設局と都区連絡協議会で申し入れた。都は復活の予定はないとの答でしたが引き続き粘り強く申し入れを行なっていく」と答弁、交渉継続を約束しました。

人に優しい福祉を

児童クラブ

四年生以上の障害児の 受け入れ求める 請願、採択

児童クラブの障害児受け入れ年齢延長に関する請願が提出され、全会一致で採択されました。この請願には、多くの障害児の保護者の方達の生活実態を記した参考資料が提出（三五通）され、一日も早い実現を切実に訴えていました。請願採択を受け、行政は一日も早い実施が求められます。また、質疑の中で、「夏休み的一般利用の場合、児童館が一〇時からしか利用できないため、ヘルパーさんと一緒に公園などで過ごして開館を待っている。雨の時など本当に困る」と改善を求める訴えがありました。私たちは「障害のある子ども達をいつまでそんな状況に

おくのか？すぐにも実施すべき」と指摘し、区からは「受け入れ時間を早急に検討する」の答弁を得ました。

宿泊・外出訓練費の助成を 求める請願採択！ 通所も入所も



宿泊訓練風景

「はつらつ太陽」の入所施設を利用して、保護者の方達から、「区の施設と同様、宿泊訓練等の費用助成求める」請願が出され、継続になっていた通所施設の保護者からの同様の請願とあわせ、全会一致で採択されました。外出等の機会が少ない障害者にとって、施設で行う宿泊訓練や外出訓練はとても意義のあるものですが、民間運営のため、保護者に多くの経済的負担がかかっていました。この二つの請願には、経済的理由で参加できない方がでないよう、みんなが楽しく参加できるようにとの願いが込められていました。来年から確実に助成がされるよう引き続き取り組んでいきます。

いっそうの教育支援を

30人学級、 少人数学級の実施を

少人数学級を実施していないのは、県レベルでは東京都だけです。少人数教育は、「勉強がよく分かる」、「不登校が少ない」など、学習面、生活面で効果が実証されています。

都議会では、二十四万人の署名をそろえた実施を求める請願が審議され、都は「署名・請願を『重く受け止める』」と答弁。ところが区に「実施を都に要請するよう」求めても、教育長は「一人ひとりに応じた少人数指導を実施している」、「都への要請は、現段階では考えていない」と答弁。世論の力で少人数学級の実施を迫りましょう。

「バイト、バイトで勉強 に集中できない」 教育費負担軽減を

教育費負担軽減を

「二年間で二クラス分くらいの方が高校をやめた」「私立大学では毎年一人一人の学生が経済的理由で退学する」「一年だけの約束で大学に通っている」、高い学費に苦しむ学生の声です。事態は深刻です。

私たちは今議会で「高校授業料の無料化、私立学校の授業料軽減への助成、給付型奨学金制度の実施を国、都に求めよ。区の奨学金は、申し込みの常時受付を、卒業したら返還の免除を」と質問。区は、「国は負担軽減策を検討しており、国の動向を見守り、教育長会を通じて国・都に

要望していく。全国都市教育長協議会では、奨学金事業の充実を国に要望している。申込みの常時受け付けは、相談等の推移を見守る」との答弁にとどまりました。

麻布運動場の抜本的改修 修急げ 早期に改修したい

早期に改修したい

港区は、野球場やサッカー場が少なく、グラウンドの確保が大変です。私たちは、運動場の確保について機会あるごとに質問・提案してきました。麻布運動場については「ちょっとした雨で水溜まりができしてしまう」、「多少の雨なら、やんたら使えるようにしてほしい」等の利用者の声が寄せられており、早急に抜本的改修を行うよう質問。区は「水はけの改修工事設計を実施する」と答弁。「来年度の工事か」の質問に、「早期に改修工事を行いたい」と答弁。また、①都立芝公園グラウンドの港区への移管を強力に進めること②東京海洋大学の地域開放に向け、要請を強めるよう求めました。教育長は、「移管が早期に実現するよう、都に働きかける」、「東京海洋大学と粘り強く協議する」と答弁しました。



雨後の麻布グラウンド